

計測ソフト及び報告書のインストーラー（SetupGO21AS330_305(地盤調査報告書)）は計測ソフトと報告書を PC にインストールするファイルです。

まず、新しくパソコンに計測・解析ソフト及び報告書をインストールされる方は、以下の順番で進めてください。

手順② → 手順③ → 手順⑤→ 手順⑥→ 手順⑦

※手順⑥、手順⑦は最初の 1 回だけ必要な手順となります

すでに、計測・解析ソフト及びがインストールされているパソコンが対象の場合は、以下の順番で進めてください。

手順① → 手順② →手順③ →手順④ →手順⑤ →手順⑥ →手順⑦

※手順⑥、手順⑦は最初の 1 回だけ必要な手順となります

※尚、本文章は Windows10 の環境下で作成しております。、Windows11 についても同様の手順なのですが、少々ボタンの位置などが異なります。

~~手順①~~

報告書の表紙に御社名を入力するにあたり、プログラムフォルダーにあるテキストファイルに書き込んだ情報を都度読みだしています。また入力作業でお手間をいただいてしまうのも恐縮です。このテキストファイルを、インストール前に取り出して、インストール後に戻すことで、この入力作業を省略することができます。

デスクトップのモグラのアイコンの上で、右クリックをします。表示されたメニューの中から、“ファイルの場所を開く” をクリックします。クリックすると、プログラムの格納されているフォルダーが開きます。開きましたら、「報告書作成支援ソフト初期設定値.INI」という名称のファイルがありますので、これをコピーして、デスクトップやマイドキュメントなど、後程、御自分でわかるような場所に保存してください。手順①は以上です。

※パソコンによっては、最後の“INI” は表示されていません

※名前の変更は行わないでください

~~手順②~~

GO305_20240507.zip を解凍すると、インストーラファイルがあります。次の頁の“注意”について確認した後、インストーラファイルをクリックするとインストールがスタートします。基本的には、すべてそのまま“OK”あるいは“次へ”を選んでください。インストールが終了したら手順②は終了です。

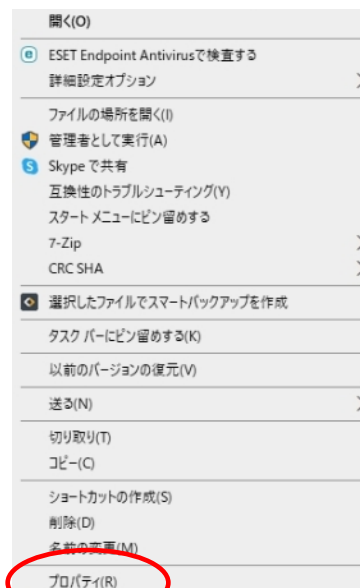
・注意・

すでに計測ソフト・報告書がインストールされているパソコンが対象の場合は、パソコンの機能「プログラムのアンインストール」（コントロールパネル内）を使用して、先にソフトのアンインストールを行ってください。GO-21 Measurement System AS330_305(地盤調査)をアンインストールすると、デスクトップ上の計測ソフト及び報告書のショートカットが削除されます。それから、インストールをしてください。

~~手順③~~

(1) もぐらのアイコンのプロパティ

モグラのアイコンを右クリックしてプロパティを開きます。



(2) 互換性をひらく

互換性のタブを開き、
“互換モードでこのプログラムを実行する”
にチェックをいれます。このとき、下の表示が
“windowsXP サービスパック 2” になっている
ことを確認します。

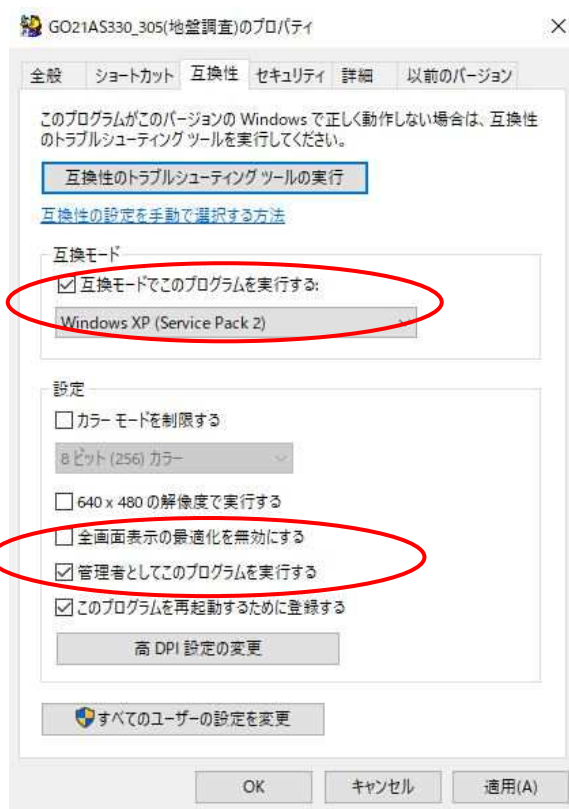
※サービスパック 3 でも可です。

次に、“設定” の中の

“管理者としてこのプログラムを実行する”
にチェックをいれます。

これら手順を踏みましたら、“適用” および“OK” を
クリックして終了してください。

手順③終了です



~~手順④~~

手順①で避難させた設定ファイルをもとに戻します。デスクトップのモグラのアイコンの上で、右クリックをします。表示されたメニューの中から、“ファイルの場所を開く”をクリックします。クリックすると、プログラムの格納されているフォルダーが開きます。開きましたら、手順①で保存しておいた、「報告書作成支援ソフト初期設定値.INI」のファイルをコピーして、プログラムの格納されているフォルダーの中に貼り付けます。

パソコンから上書きしますか、と聞かれますので、上書きしてください。

手順④は以上となります

~~手順⑤~~

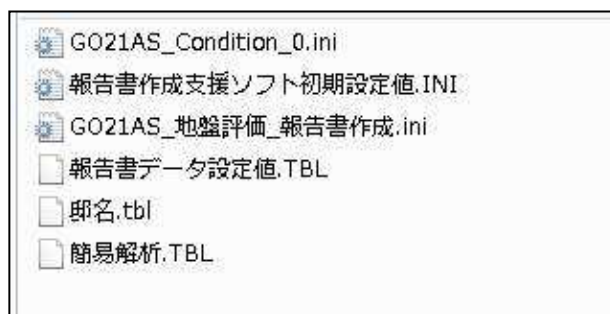
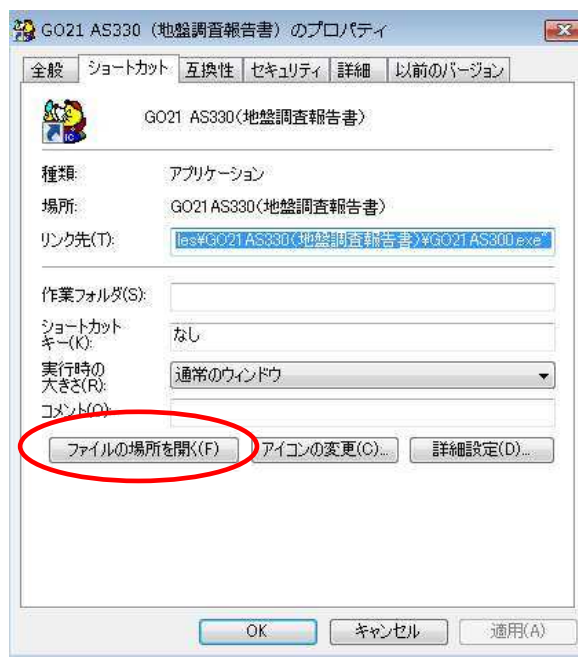
デスクトップのモグラのアイコンの上で、右クリックをします。表示されたメニューの中から、“ファイルの場所を開く”をクリックします。

下にある、“ファイルの場所を開く”をクリックします。クリックすると、プログラムの格納されているフォルダーが開きます。

この中には、沢山のファイルがあります。プログラムフォルダーは、パソコンにとって重要な領域でなので初期設定ではファイルへの書き込み・変更などが禁止された状態となっています。

これを解除するための作業が必要となります。右に示す6個のファイルは、書き込み・変更ができないと、報告書の作成に影響が発生します。

この6個について、
次頁の設定を行ってください



変更するファイルを見つけましたら、ファイルの上で右クリックをします。開いた窓の中で、セキュリティのタブを開きます。

(右参照)

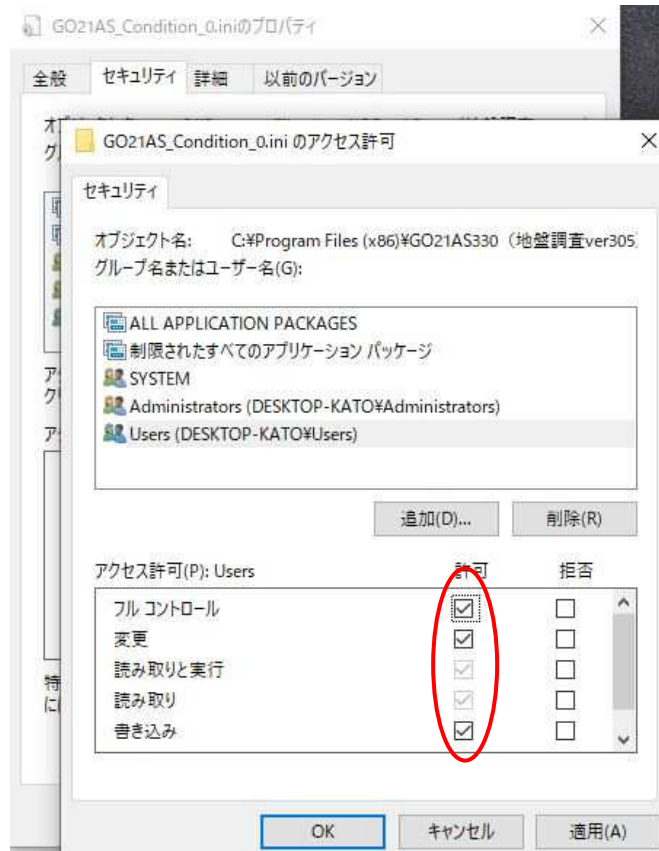
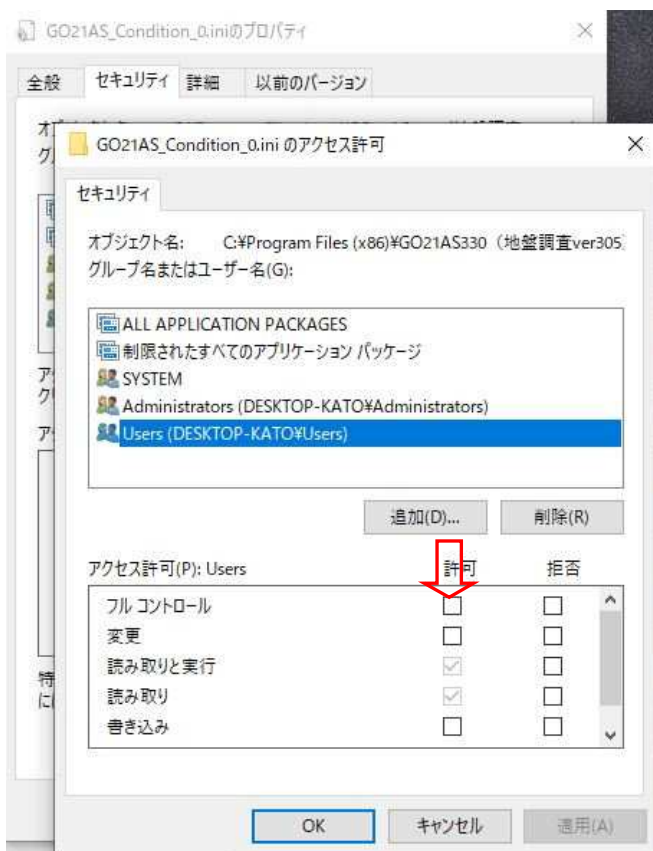
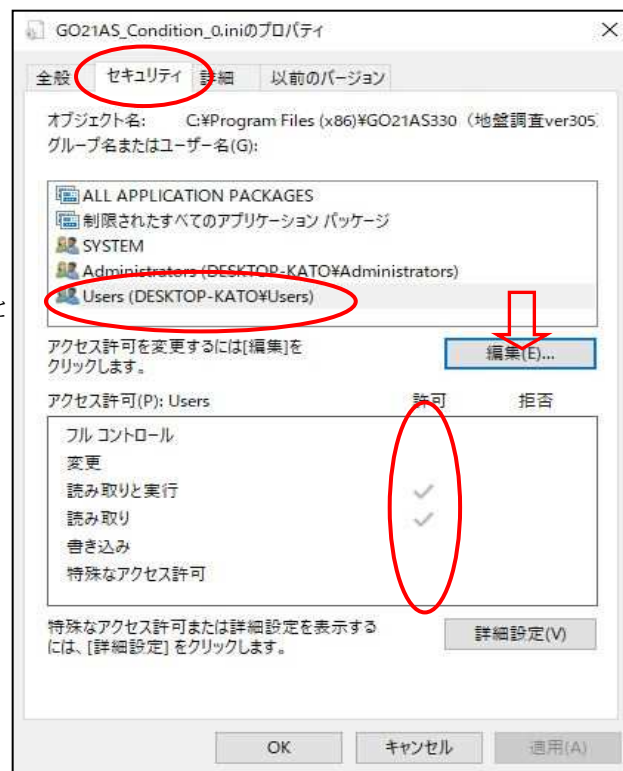
上の箱の中、一番下にある“Users (***)”を選ぶと下の箱の中、チェックが2つしか入っていません。

“Users (***)”をクリックしてから、“編集”のボタンをクリックします。クリックすると、似たような窓が開きます。

※上記の(***)の部分はパソコンによって異なります

開いた窓に対して、“Users (***)”を選ぶと、下の箱に許可されている内容が表示されます。下の箱の“フルコントロール”の許可のところにチェックをいれるとすべてにチェックが入ります。

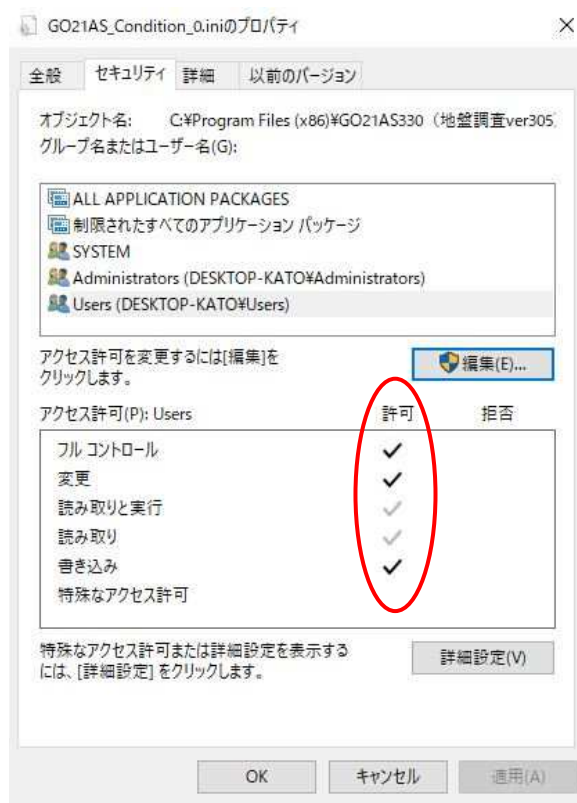
この状態で“適用”および“OK”をクリックしてください。



“OK”を押すと、最初の窓に戻りますが、右のように、すべての許可にチェックがはいっているのがわかります。

この作業を、前述の6個のファイルすべてに行ってください

手順⑤終了です



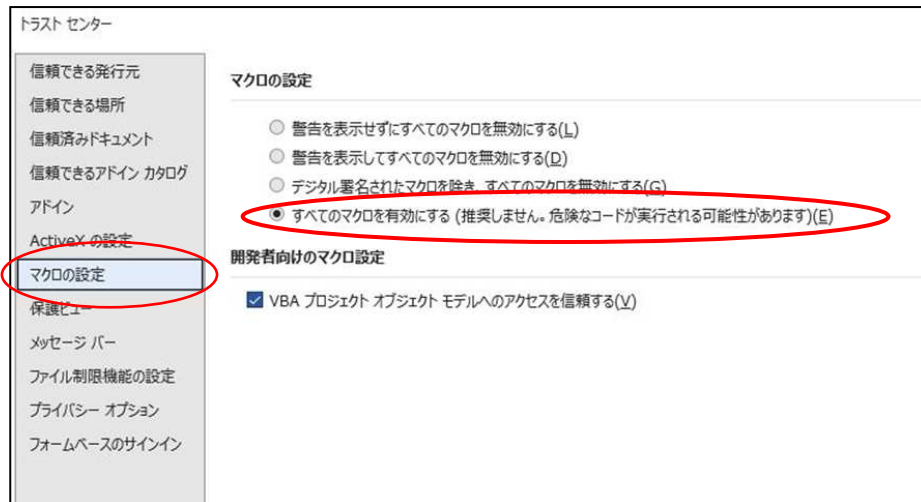
~~手順⑥~~

近年、word を含めて、office のセキュリティーが厳しくなっています。マクロの動作のため、マクロの設定の確認と、信頼できる場所の設定をする作業となります。

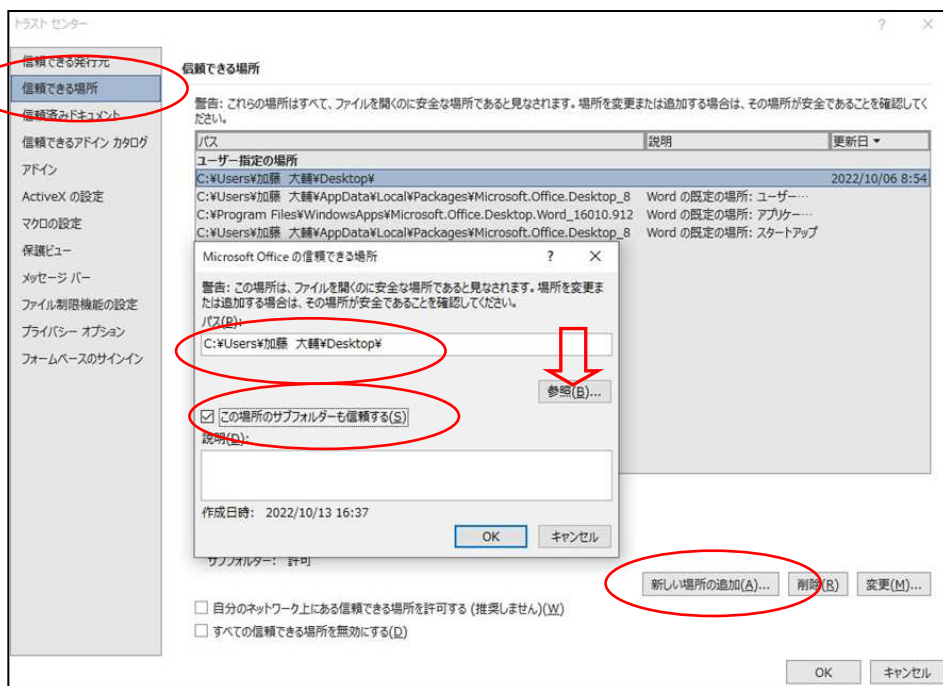
まず、なんでもよいので Word ファイルを開きます。Word ファイルを開いたら、以下の順で開きます。

ファイル→オプション→トラストセンター→トラストセンターの設定

マクロ設定からすべてのマクロを有効にするにチェックをいれます。



次に、左側のメニューから信頼できる場所を選択します。ここで、新しい場所の追加をクリックしてください。窓がひらいたら、参照ボタンをクリックして、デスクトップを登録します。登録する際に、この場所のサブフォルダーも信頼するにチェックを入れます。



報告書を起動して、報告書が動作することを確認します。

手順⑥は以上となります。

※手順⑥は、office に対する設定のため、基本的に 1 回だけの手順です。次回から必要ありません。

~~手順⑦~~

Windows は、バージョンが新しくなる度にセキュリティが厳しくなっています。手順⑦は、特に Windows10 及び Windows11 パソコンを対象としたものです。これ以前の Windows のバージョンの場合は、設定の必要はありません。

まず、画面したの Windows マーク（四角い田マーク）をクリックして、設定（歯車マーク）をクリックします。“システム”という画面が開きます。左側のメニューの中から、“プライバシーとセキュリティ”をクリックします。

画面が切り替わって表示されたメニューの中から“デバイスセキュリティ”をクリックします。

“デバイスセキュリティ”と書かれた新しい窓が開きます。この中に“コア分離”という項目があります。“コア分離の詳細”をクリックします。

コア分離の詳細の中に、“メモリ整合性”という設定があります。この設定が、“オン”になっていると、M300 本体とパソコンとの USB 接続を行うドライバーがインストールできません。したがって、計測ができません（解析作業は問題ありません）。

この“メモリ整合性”の設定を、“オフ”にしてください。

対象のパソコンを現場計測で使用する場合は、このコア分離のメモリ整合性については、オフのままにしてください。

・ ・ 注意点 ・ ・

このコア分離のメモリ整合性の設定は、Windows Hello という機能のスイッチでもあります。まことに申し訳ありませんが、Windows Hello 機能と表面波探査機 M300 の計測は併用することができません。ご容赦の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

Windows Hello とは：PIN 番号、指紋認証、顔認証を設定することで、デバイスへのアクセスをセキュリティを落とさずに、スムーズにする仕組みです。

手順⑦は以上です。

※手順⑦はパソコンに対する設定なので、1 回だけの手順です。次回から必要ありません。